

公園緑化土木工事施工管理基準

令和3年3月

大 阪 市 建 設 局

目 次

公園綠化土木工事施工管理基準

第1章	公園綠化土木工事施工管理基準	1
第2章	公園綠化土木工事出来形管理基準	4
第3章	公園綠化土木工事品質管理基準	15
第4章	公園綠化土木工事写真管理基準	21

公園緑化土木工事施工管理基準

第1章 公園緑化土木工事施工管理基準

この施工管理基準は、工事請負共通仕様書（3 公園緑化土木工事編）に規定する公園緑化土木工事の施工管理及び規格値の基準を定めたものである。

1. 目的

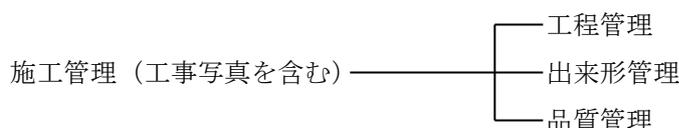
この管理基準は、公園緑化土木工事の施工について、契約図書に定められた工期、工事目的物の出来形及び品質規格の確保を図ることを目的とする。

2. 適用

この管理基準は、大阪市建設局公園緑化部が発注する公園緑化土木工事について適用する。

ただし、設計図書に明示されていない仮設構造物等は除くものとする。また、工事の種類、規模、施工条件等により、この基準によりがたい場合は、監督職員と協議して他の方法によることができる。

3. 構成



4. 管理の実施

- (1) 受注者は、工事施工前に、工事請負共通仕様書（1 共通編）共-1-1-1-6 施工計画に規定する施工管理計画及び施工管理担当者を定めなければならない。
- (2) 施工管理担当者は、当該工事の施工内容を把握し、適切な施工管理を行わなければならない。
- (3) 施工管理担当者は、測定（試験）を実施する時は、その都度、監督職員に通知しなければならない。
- (4) 受注者は、測定（試験）等を工事の施工と並行して、管理の目的が達せられるようすみやかに実施しなければならない。
- (5) 受注者は、測定（試験）等の結果をその都度逐次管理図表等に記録し、適切な管理のもとに保管し、監督職員の請求に対し直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。
- (6) 試験（測定）記録写真は、実施の都度、撮影して整理しておかななければならない。

5. 管理項目及び方法

(1) 工程管理

受注者は、工程管理を工事内容に応じた方式（ネットワーク（PERT）又はバーチャート方式など）により作成した計画工程表により行うものとする。但し、応急処理又は維持工事等の当初工事計画が困難な工事内容については、省略できるものとする。

(2) 出来形管理

1. 受注者は、出来形を出来形管理基準に定める測定項目及び測定基準により実測し、設計値と実測値を対比して記録した出来形管理報告書を作成し、監督職員に提出しなければならない。
2. 受注者は、施工管理計画に出来形を管理する工種、測定項目等を定めて手順よく実施し、測定記録をその都度、整理しなければならない。特に施工完了後目視できない箇所（埋戻し、又は水没する箇所等）は、測定もれのないよう慎重に実施しなければならない。
3. 測定基準
 - 1) 施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所以上
 - 2) 施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所
 - 3) 独立構造物については 1 箇所ごと、ただし安全柵等のコンクリート基礎は、前記 1)、2) を適用する。

(3) 品質管理

1. 受注者は、品質を品質管理基準に定める試験項目、試験方法及び試験基準により管理し、その管理内容に応じて、工程能力図又は、品質管理図表等（ヒストグラム、 $\bar{X}-R$ 、 $\bar{X}-R s-R m$ など）を作成するものとする。

なお、これらの管理資料は、品質管理試験報告書として監督職員に提出しなければならない。

ただし、測定数が 10 点未満の場合は、品質管理表のみとし、管理図の作成は不要とする。

この管理基準の適用は、試験区分で「必須」となっている試験項目は、下記に掲げる工種 (イ)、(ロ)の条件に該当する工事を除き、全面的に実施するものとする。それらの小規模工事については、設計図書又は監督職員の指示により実施するものとする。

また、試験区分で「その他」となっている試験項目は、特記仕様書等の設計図書又は監督職員の指示により実施するものとする。

(イ) 路盤

維持工事等の小規模なもの（施工面積が 1 0 0 0 m²以下のもの）

(ロ) アスファルト舗装

維持工事等の小規模なもの（同一配合の合材が 1 0 0 t 未満のもの）

2. 受注者は、セメントコンクリートの適用に当たり、無筋コンクリート構造物のうち重力式橋台、橋脚及び重力式擁壁（高さ 2.5m を超えるもの）については、鉄筋コンクリートに準ずるものとする。
3. 受注者は、施工管理計画に品質を管理する工種、試験（測定）項目、試験方法等を定めて手順よく実施し、試験（測定）記録をその都度整理し、考察を行い、その結果を確認するとともに問題点について適切な措置を講じなければならない。
4. 受注者は、舗装工事における粒度調整路盤の試験項目締固め密度の測定において施工面積に応じた測定個数の中から、無作為に抽出した 10 個又は 3 個の測定値により平均値 $\bar{X}10$ 、 $\bar{X}3$ を求めるものとする。

また、 $\bar{X}3$ が規定値をはずれる場合は、さらに無作為に 3 個の測定値を加えた平均値 $\bar{X}6$ を求めるものとする。

6. 規格値

受注者は、出来形管理基準及び品質管理基準により測定した各実測（試験・検査・計測）値は、すべて規格値を満足しなければならない。

7. その他

受注者は、工事写真を施工管理の手段として、各工事の施工段階及び工事完成後明視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況、工事中の災害写真等を写真管理基準により撮影し、適切な管理のもとに保管し、監督職員の請求に対し直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

第2章 公園緑化土木工事出来形管理基準

1. 出来形管理基準

- (1) 出来形は、測定項目及び測定基準により実測し、その測定値が全て規格値の範囲内にあること。
- (2) 測定の平均値は、設計値以上であること。

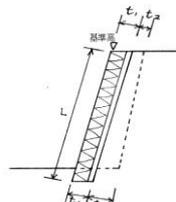
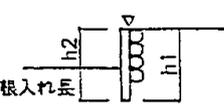
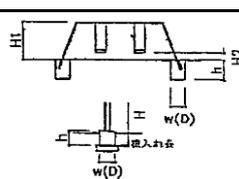
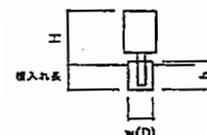
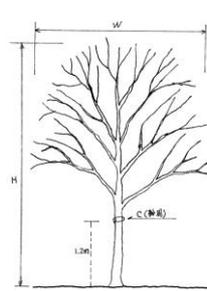
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル				単位	測定項目	規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用
1	2	3	4					
1 基盤整備	2 敷地造成工	3 表土保全工	表土掘削	m ³	法長 L L < 5 m	-200	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。施工面積1000㎡につき1箇所、面積1000㎡以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
					法長 L L ≥ 5 m	法長の -4%		
					深さ h	-30		
		掘削工	掘削 整地 押土(ルーズ)	m ³	基準高 ▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。基準高は掘削部の両端で測定。	
					法長 L L < 5 m	-200		
					法長 L L ≥ 5 m	法長の -4%		
	路床盛土工	路体(築堤)盛土 路床盛土 整地 押土(ルーズ)	m ³	基準高 ▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。施工面積1000㎡につき1箇所、面積1000㎡以下のものは1施工箇所につき2箇所。基準高は各法肩または施工面積のほぼ中心と各法肩で測定する。		
				法長 L L < 5 m	-100			
				法長 L L ≥ 5 m	法長の -2%			
				幅 W1, W2	-100			
	法面整形工	法面整形	m ²	厚さ t	-30	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。法の中央で測定する。		
	路床安定処理工	安定処理	m ³	基準高 ▽	±50	延長40m毎に1箇所の割で測定する。基準高は中央部及び端部で測定する。厚さは中心線及び端部で測定。施工面積1000㎡毎につき1箇所測定する。		
				施工厚さ t	-50			
				幅 W	-100			
				延長 L	-			
	植栽基盤工	表土盛土工	盛土(流用土盛土) 盛土(発生表土) 盛土(採取表土) 盛土(購入表土)	m ³ m ³ m ³	基準高 ▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。施工面積1000㎡につき1箇所、面積1000㎡以下のものは1施工箇所につき2箇所。基準高は各法肩または施工面積のほぼ中心と各法肩で測定する。	
					法長 L L < 5 m	-100		
					法長 L L ≥ 5 m	法長の -2%		
					幅 W1, W2	-100		
透水層工		開渠排水	m	基準高 ▽	±30	幅、高さについては施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。		
				幅 W	-50			
				高さ h	-30			
				延長 L	-			
		暗渠排水	m	幅 W1, W2	-50	ただし、延長については1施工箇所毎。		
				高さ h	-30			
土層改良工	普通耕 深耕	m ²	幅 w	-100	耕耘タイプ毎につき1ヶ所。施工面積1,000㎡につき1ヶ所。面積1000㎡以下のものは、施工箇所につき2ヶ所。			
			深さ h	-50				
	土性改良 施肥	m ²	幅 w	-100	施肥配合タイプ毎につき1ヶ所。施工面積1,000㎡につき1ヶ所。面積1000㎡以下のものは、施工箇所につき2ヶ所。			
			深さ h	-50				
法面工	編柵工	編柵	m	高さ h	±30	1ヶ所/1施工箇所		
				延長 L	-			

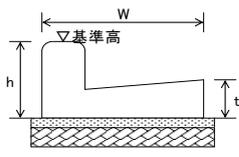
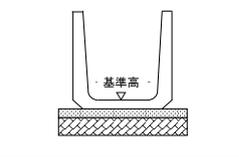
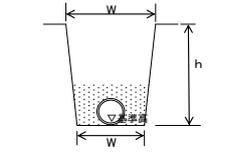
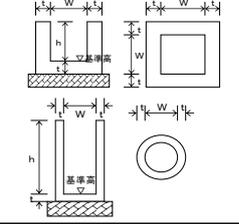
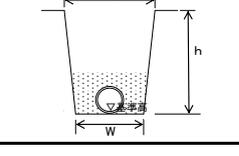
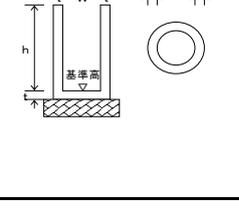
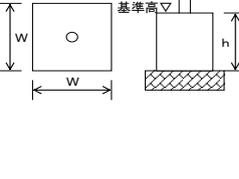
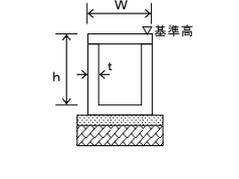
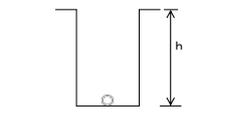
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル				単位	測定項目	規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用	
1	2	3	4						
1 基盤整備	2 法面工	3 植生工	種子散布 植生シート 植生マット 公園種子帯 公園張芝 公園筋芝 人工張芝 植生穴	m ²	切土法長 L < 5 m L ≥ 5 m	-200 法長の-4%	施工延長40m(測点間隔25mの 場合は50m)につき1箇所、延 長40m(同50m)以下のものは1 施工箇所につき2箇所。		
					盛土法長 L < 5 m L ≥ 5 m	-100 法長の-2%			
					延長 L	-			
	かご工	じゃかご	m ²	法長 L L < 3 m	-50	施工延長40m(測点間隔25mの 場合は50m)につき1箇所、延 長40m(同50m)以下のものは1 施工箇所につき2箇所。			
				法長 L L ≥ 3 m	-100				
				厚さ t	-50				
	ふとんかご	m ²	幅 w	-100	施工延長40m(測点間隔25mの 場合は50m)につき1箇所、延 長40m(同50m)以下のものは1 施工箇所につき2箇所。				
			高さ h	-					
	公園 カルバート工	プレキャスト カルバート工	プレキャストカルバート	m	本体	基準高 ▽	±30	施工延長40m(測点間隔25mの 場合は50m)につき1箇所、延 長40m(同50m)以下のものは1 施工箇所につき2箇所。 ※印は現場打部分のある場 合。ただし、延長については、1 施工箇所毎。	
						※幅 W	-50		
※高さ h						-30			
延長 L						-			
擁壁工	現場打 擁壁工	公園基礎材 公園均しコンクリート	m ²	幅 w	設計値以上	施工延長40m(測点間隔25mの 場合は50m)につき1箇所、延 長40m(同50m)以下のものは1 施工箇所につき2箇所。			
				厚さ t1 t2	設計値以上				
				延長 L	各構造物の規格 値による				
	小型擁壁 重力式擁壁 もたれ式擁壁 逆T型擁壁 L型擁壁	m	本体	基準高 ▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの 場合は50m)につき1箇所、延 長40m(同50m)以下のものは1 施工箇所につき2箇所。 ただし、延長については、1 施工箇所毎。			
				厚さ t	-20				
				裏込厚さ	-50				
				幅 W	-30				
				高さ h < 3 m	-50				
				高さ h ≥ 3 m	-100				
	延長 L	-							
プレキャスト 擁壁工	プレキャスト 擁壁工	プレキャストL型擁壁 プレキャスト逆T型擁壁	m	本体	基準高 ▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの 場合は50m)につき1箇所、延 長40m(同50m)以下のものは1 施工箇所につき2箇所。 ただし、延長については、1 施工箇所毎。		
					延長 L	-			
コンクリート ブロック積	コンクリート ブロック積	コンクリートブロック積 間知ブロック張 平ブロック張 連節ブロック張 緑化ブロック積 天端コンクリート	箇所	本体	基準高 ▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの 場合は50m)につき1箇所、延 長40m(同50m)以下のものは1 施工箇所につき2箇所。 厚さは上端部及び下端部の2 箇所を測定。		
					法長 L < 3 m L ≥ 3 m	-50 -100			
					厚さ t1 (ブロック積・張り) t2 (裏込め)	-50 -50			
					延長 L	-			
					延長 L	-			
石積工	石積工	面積 玉石積 小端積 こぶだし石積 切石積 間知石積 雑割石積 雑石積 割石積 雑割石張 雑石張	箇所	本体	基準高 ▽	±50	施工延長40m(測点間隔25mの 場合は50m)につき1箇所、延 長40m(同50m)以下のものは1 施工箇所につき2箇所。 厚さは上端部及び下端部の2 箇所を測定。		
					法長 L < 3 m L ≥ 3 m	-50 -100			
					厚さ t1 (ブロック積・張り) t2 (裏込め)	-50 -50			
					延長 L	-			
					延長 L	-			
					延長 L	-			

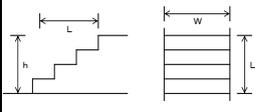
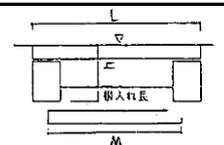
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル				単位	測定項目	規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用								
1	2	3	4													
1 基盤整備	擁壁工	石積工	崩れ積	箇所	本体	基準高 ∇	± 100	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。								
						法長 $L < 3m$ $L \geq 3m$	-50 -100									
						厚さ t1 (石積・張り) t2 (裏込め)	-50 -50									
						延長 L	-									
						土留め工	土留め			m	基準高 ∇	± 50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。			
	高さ h	-50														
	根入れ長	設計値以上														
	延長 L	-														
	公園施設等撤去・移設工	移設工	遊具移設	基	設置高さ H1 H2	± 30	1箇所/1基礎 基礎1基毎									
					幅 W (D)	-30										
					高さ h	-30										
					根入れ長	設計値以上										
小工作物移設		基	設置高さ H	基礎	幅 W (D)	-30	1箇所/1基礎 基礎1基毎									
					高さ h	-30										
					根入れ長	設計値以上										
					植栽	植栽工			高木植栽工	樹木(高木)	本	[幹周表示有] 樹高 (H) 定められた寸法値 $\leq H$ 幹周 (C) 定められた寸法値 $\leq C <$ 上位階級の寸法値 枝張 (W) 定められた寸法値 $\leq W$	1本毎に測定する。	※定められた寸法値の上限は上位階級の寸法値を目安とする。 		
中低木植栽工	樹木(中低木)	本	[幹周表示無] 樹高 (H) 定められた寸法値 $\leq H <$ 上位階級の寸法値 枝張「葉張」(W) 定められた寸法値 $\leq W$	100本毎に測定する。												
					特殊樹木植栽工		樹木(特殊樹木)	本							[幹周表示無] 樹高 (H) 定められた寸法値 $\leq H <$ 上位階級の寸法値 枝張「葉張」(W) 定められた寸法値 $\leq W$	1本毎に測定する。
長さ L	-															
施設整備	給水設備工	取水栓類	制水弁	基	基礎	設計値	1箇所/1基毎に測定する。									
						散水施設工			散水栓ボックス 散水栓 スプリンクラー ドリップパイプ	基	基礎	設計値	1箇所/1基毎に測定する。			
												m		深さ h	-30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。
	給水管路工	給水管 埋設シート	m	延長 L	-											
					延長 L	-										

公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル				単位	測定項目	規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用		
1	2	3	4							
施設整備	雨水排水設備工	側溝工	現場打L型側溝	m	基礎	公園基礎材参照		施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ただし、延長は1施工箇所毎。		
					本体	基準高	▽			±30
						厚さ	t			-20
						幅	W			-30
						高さ	h			-30
	延長	L	-							
	L型側溝 管(函)渠型側溝 プレキャストU型側溝 プレキャスト皿型側溝 自由勾配側溝 コルゲートフリユーム 特殊円形側溝	m	基礎高	▽	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ただし、延長は1施工箇所毎。				
			延長	L	-					
			基礎	公園基礎材参照						
			基準高	▽	±30					
延長			L	-						
雨水排水設備工	管渠工	コレゲートパイプ P C管 陶管・副管 硬質塩化ビニル管 プレキャストボックス 透水管	m	基礎高	▽	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ただし、延長は1施工箇所毎。			
				幅	W	-50				
				高さ	h	-30				
				延長	L	-				
				基礎	公園基礎材参照					
	集水樹・マンホール工	集水樹 浸透樹 オフィス樹 マンホール 公園マンホール 浸透マンホール	基	本体	基礎	公園基礎材参照		1箇所/1基毎に測定する。		
					基準高	▽	±30			
					厚さ	t	-20			
					幅	W	-30			
					高さ	h	-30			
汚水排水設備工	管渠工	コレゲートパイプ P C管 陶管・副管 硬質塩化ビニル管	m	基礎高	▽	±30	人孔(枺)で測定する。 施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ただし、延長は1施工箇所毎。			
				幅	W	-50				
				高さ	h	-30				
				延長	L	-				
				基礎	公園基礎材参照					
	汚水樹・マンホール工	汚水樹 マンホール 公園マンホール	基	本体	基礎	公園基礎材参照		1箇所/1基毎に測定する。		
					基準高	▽	±30			
					厚さ	t	-20			
					幅	W	-30			
					高さ	h	-30			
電気設備工	照明設備工	引込柱 分電盤 照明灯 スピーカー柱	基	基礎	公園基礎材参照		1箇所/1基毎に測定する。			
				基準高	▽	設計値以上				
				幅	W	-30				
				高さ	h	-30				
				根入れ長		設計値以上				
	ハンドホール	ハンドホール	基	本体	基礎	公園基礎材参照		1箇所/1基毎に測定する。		
					基準高	▽	±30			
					幅	W	-30			
					高さ	h	-30			
					厚さ	t	-20			
電線管路工	電線管 電線 埋設シート	m	本体	高さ	h	-30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ただし、延長は1施工箇所毎。			
				延長	L	-				

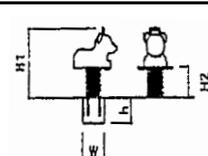
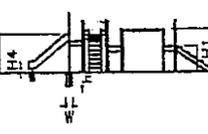
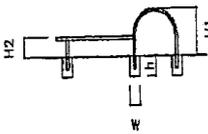
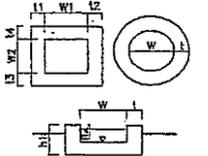
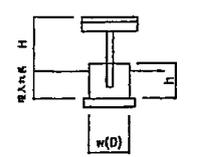
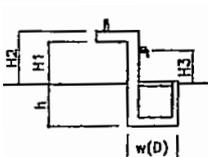
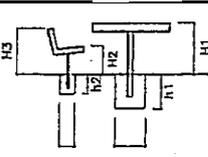
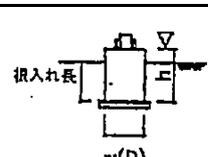
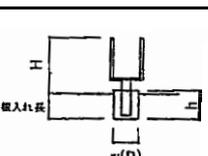
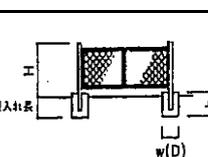
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル				単位	測定項目	規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用						
1	2	3	4											
1 施設整備	2 園路広場整備工	3 舗装準備工	路床	単位	基準高 ∇	± 40	基準高、幅は延長40m毎、厚さは200㎡毎に測定する。							
				㎡	幅 W	-50								
				厚さ t	-45									
	2 アスファルト舗装工・排水性舗装工	3 下層路盤	㎡	基準高 ∇	単位	個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)	路盤が1層の場合は、下層路盤の規格値を適用する。 設計図書で幅員の設定がないものについては、幅の規格値は適用しない。 基準高、幅は延長80m毎(路盤が1層の場合又は2層の場合の下層路盤については40m毎)、厚さは1000㎡毎に1箇所を掘り起こして測定する。 なお、基層、表層の厚さについては、1000㎡に1箇所の割で、コア採取により測定するものとする。	工事規模の考え方 中規模以上とは、1層当りの施工面積が2000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層のアスファルト混合物の総使用量が500t未満、あるいは施工面積が2000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足するとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10未満の場合は、測定値の平均値は適用しないものとする。					
					㎡	厚さ t	± 40 ± 50			-				
					厚さ t	-45	-15							
					幅 W	-50	-							
					3 上層路盤	㎡	厚さ t			-25 -30	-8 -10			
							幅 W			-50	-			
		3 基層	㎡	厚さ t	-9 -12	-3 -4								
				幅 W	-25	-								
		3 表層	㎡	厚さ t	-7 -9	-2 -3								
				幅 W	-25	-								
		平坦性	-	3mプロファイルメータ(δ)2.4mm以下 直読式(足付)(δ)1.7mm以下										
		2 アスファルト系舗装 コンクリート系舗装 土系舗装 シタイル系舗装 樹脂系舗装 石材系舗装 砂利舗装 碎石舗装 玉石張舗装 小舗石舗装 切板石張舗装	レ	㎡	路盤	単位	個々の測定値 (X)	中規模以上 小規模	設計図書で幅員の設定がないものについては、幅の規格値は適用しない。 基準高、幅は延長40m毎、厚さは1000㎡毎に1箇所を掘り起こして測定する。 なお、表層の厚さについては、1000㎡に1箇所の割で、コア採取により測定するものとする。	工事規模の考え方 中規模以上とは、施工面積が2000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層のアスファルト混合物の総使用量が500t未満、あるいは施工面積が2000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足するとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10未満の場合は、測定値の平均値は適用しないものとする。				
基準高 ∇	± 50													
厚さ t < 150	-					-30								
t ≥ 150	-					-45								
幅 W	-100													
3 表層	厚さ t					-10								
						幅 W	-25							
3 園路緑石工	m					基礎	公園基礎材参照				1箇所/1施工箇所毎に測定する。			
							本体	幅 w					-10	
								厚さ h					-10	
		厚さ t (溶融式のみ)	設計値以上											
3 区画線工	m	幅 W	設計値以上		各線種毎に1箇所、テストピースにより測定。各線種毎に幅測定									
		延長 L	-											
		階段工	箇所・段	基礎			公園基礎材参照		1箇所/1施工箇所毎に測定する					
高さ h	-30													
長さ L	-30													
段数	± 0 段													
階段高さ調整	設計値													
3 公園橋工	m	橋脚	基準高 ∇	± 30		1箇所/1施工箇所毎に測定する。								
			高さ h	± 30										
			幅 W	-30										
			延長 L	-										
			根入れ長	設計値以上										

公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル		単位	測定項目	規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用			
1 施設整備	2 園路広場整備工	3 公園橋工	4						
			公園橋橋台	m・箇所	基準高	▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所にて測定。	
					擁壁の厚さ	t	-20		
					天端幅(橋軸方向)	W1	-10		
					天端幅(橋軸方向)	W2	-10		
					軸幅(橋軸方向)	W3	-50		
					高さ	h1	-50		
					胸壁の高さ	h2	-30		
					天端長	L1	-50		
					敷長	L2	-50		
					胸壁間距離	L	±30		
			支点長及び中心線の変位		±50				
デッキ工	デッキ基礎 デッキ設置	m ² 基	基準高	▽	±30	1箇所/1施工箇所毎に測定する。			
			高さ	h	-30				
			幅	W	-30				
			根入れ長		設計値以上				
			延長	L	-				
誘導用ブロック工	視覚障害者誘導用ブロック 視覚障害者誘導用シート 視覚障害者誘導用タイル	m ²	幅	W	-25	施工延長40m毎に1箇所(40m以下は2箇所)で測定する。			
			厚さ	t	-9				
修景施設整備工	袖垣工・ 袖垣根	m	高さ	h	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。			
			延長	L	-				
トレリス工	トレリス 緑化フェンス	m	基礎	公園基礎材参照		1箇所/1施工箇所毎に測定する。			
			幅	w	±30				
			高さ	h	-				
			根入れ長		設計値以上				
			延長	L	-				
遊戯施設整備工	遊具組立設置工	ブランコ	基	設置高さH1		±30	1箇所/1基毎に測定する。 基礎1基毎。		
				幅	w	-30			
				高さ	h	-30			
				根入れ長		設計値以上			
	滑り台	滑り台	基	設置高さH1		±30	1箇所/1基毎に測定する。 基礎1基毎。		
				幅	w	-30			
				高さ	h	-30			
				根入れ長		設計値以上			
	鉄棒	鉄棒	基	設置高さH1		±30	1箇所/1基毎に測定する。 基礎1基毎。		
				幅	w	-30			
				高さ	h	-30			
				根入れ長		設計値以上			
ラダー	ラダー	基	設置高さH1		±30	1箇所/1基毎に測定する。 基礎1基毎。			
			幅	w	-30				
			高さ	h	-30				
			根入れ長		設計値以上				

公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル				単位	測定項目	規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用
1	2	3	4					
1 施設整備	遊戯施設整備工	遊具組立設置工	スイング遊具	基	設置高さ H 1	±30	1箇所/1基毎に測定する。 基礎1基毎。	
					幅 w	-30		
					高さ h	-30		
					根入れ長	設計値以上		
	遊具組立設置工	複合遊具	基	設置高さ H 1	±30	1箇所/1基毎に測定する。 基礎1基毎。		
				幅 w	-30			
				高さ h	-30			
				根入れ長	設計値以上			
	遊具組立設置工	健康遊具施設	基	設置高さ H 1	±30	1箇所/1基毎に測定する。 基礎1基毎。		
				幅 w	-30			
				高さ h	-30			
				根入れ長	設計値以上			
	小規模現場打遊具工	砂場	箇所基	基準高 ▽	±30	1箇所/1施工箇所毎に測定する。		
				幅 W	-30			
				厚さ t	-20			
				高さ h	-30			
サービス施設整備工	時計台工	時計台	基	設置高さ H	設計値以上	1箇所/1基毎に測定する。		
				幅 w	-30			
				高さ h	-30			
				根入れ長	設計値以上			
水飲み場工	水飲み場 手洗い場 足洗い場	基	設置高さ H	±30	1箇所/1基毎に測定する。			
			幅 w	-30				
			高さ h	-30				
			根入れ長	設計値以上				
ベンチ・テーブル工	ベンチ スツール テーブル	基	設置高さ H	±30	1箇所/1基毎に測定する。			
			幅 w	-30				
			高さ h	-30				
			根入れ長	設計値以上				
サイン施設工	掲示板 標識 案内板 制札板	基	設置高さ H	±30	1箇所/1基毎に測定する。			
			幅 w	-30				
			高さ h	-30				
			根入れ長	設計値以上				
管理施設整備工	ごみ施設工	くず入れ 吸殻入れ	基	設置高さ H	±30	1箇所/1基毎に測定する。		
				幅 w	-30			
				高さ h	-30			
				根入れ長	設計値以上			
門扉工	門扉	基	設置高さ H	設計値以上	1箇所/1基毎に測定する。			
			幅 w	-30				
			高さ h	-30				
			根入れ長	設計値以上				

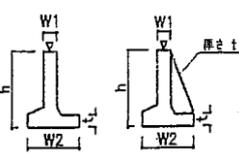
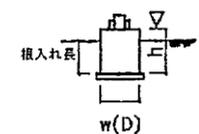
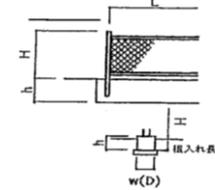
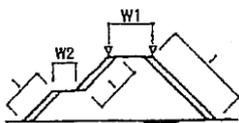
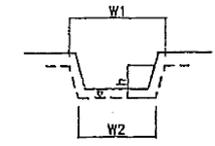
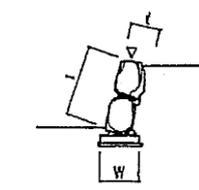
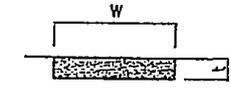
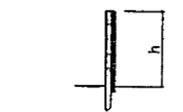
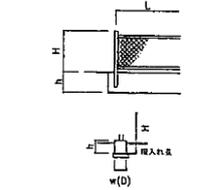
公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル				単位	測定項目	規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用		
1	2	3	4							
施設整備	管理施設整備工	柵工	外周柵 フェンス 転落防止柵 ロープ柵 チェーン柵 木柵 擬木柵 手すり 高尺フェンス 防球ネット	m	設置高さ H	設計値以上	施工箇所40m(測点間25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(同50m)以下のものは、1施工箇所につき2箇所。			
					基礎	幅 w			-30	
						高さ h			-30	
						根入れ長			設計値以上	
					延長 L	-				
	車止め工	車止め 車椅子ゲート	基	設置高さ H	設計値以上	1箇所/1基毎に測定する。				
				基礎	幅 w			-30		
					高さ h			-30		
					根入れ長			設計値以上		
				建築施設組立設置工	四阿 シェルター キャビン 温室 観察施設 売店 更衣室 便所 倉庫 自転車置場			基	基準高 ▽	±30
基礎	幅 w	-30								
	高さ h	-30								
	根入れ長	設計値以上								
グラウンド・コート舗装工	グラウンド・コート舗装工	下層路盤	m ²	基準高 ▽	個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)	路盤が1層の場合は、下層路盤の規格値を適用する。設計図書で幅員の設定がないものについては、幅の規格値は適用しない。 基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割とし、舗装中心線および端部で測定。厚さは各車線200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割に測定。 なお、基層の厚さについては、1000㎡に1箇所の割で、コア採取により測定するものとする。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割とし、厚さは、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。			
					中規模以上	中規模以上				
					±40	±50			-	
				厚さ t	-45	-15				
				幅 W	-50	-				
				上層路盤 中層路盤	厚さ t	-25			-30	-8
	幅 W	-50	-							
	厚さ t	-9	-12		-3					
	基層	幅 W	-25		-					
			-25		-					
	クレー舗装 アンターカー舗装	クレー舗装 アンターカー舗装	路盤	m ²	基準高 ▽	±50	-	基準高、厚さ、幅は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所掘り起こして測定する。幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。		
					厚さ t < 15	-	-30			-10
					t ≥ 15	-	-45			-15
					幅 W	-100	-			
			表層	厚さ t	-10		幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所、厚さは200㎡毎に1箇所測定する。			
幅 W					-25					
平坦性			テニスコート 陸上競技場 野球場	±5mm以内		-	厚さは、延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所掘り起こして測定。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。			
				±10mm以内		-				
				±20mm以内		-				
				±20mm以内		-				

公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル				単位	測定項目	規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用		
1	2	3	4							
グラ ランド ・ コート 舗装 工	グラ ランド ・ コート 用 舗装 工	天然芝舗装	m ²	路盤	基準高 ▽	±50	—	基準高、幅は40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所測定。厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割で測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1施工箇所につき2箇所を測定。		
					厚さ t < 150	—	-30			-10
					t ≥ 150	—	-45			-15
				幅 W	-100	—				
				表層	厚さ	-10				幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割で測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1施工箇所につき2箇所を測定。
					幅	-25				
		人工芝舗装	m ²	路盤	基準高 ▽	±50	—	基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割で測定。厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所掘り起こして測定。幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1施工箇所につき2箇所を測定。		
					厚さ t < 150	—	-30			-10
					t ≥ 150	—	-45			-15
				幅 W	-100	—				
				表層	厚さ t	-10				幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所割に測定。厚さは200㎡毎に1箇所測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1施工箇所につき2箇所を測定。
幅 W	-25									
全天候型舗装(樹脂系) 全天候型舗装(アスファルト系)	m ²	路盤	個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X ₁₀)		基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割で測定。厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1施工箇所につき2箇所を測定。				
			中規模以上	小規模	中規模以上					
			基準高▽	±50				—		
			厚さ t < 150	—	-30			-10		
			t ≥ 150	—	-45			-15		
			幅 W	-100	—					
		表層	厚さ t	-10		幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1施工箇所につき2箇所を測定。				
			幅 W	-25						
			平坦性	テニスコート	±5mm以内					
			陸上競技場	±10mm以内						
グラウンド・コート砂舗装 グラウンド・コートダスト舗装	m ²	路盤	基準高▽	±50	—	基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割に測定。厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1施工箇所につき2箇所を測定。				
			厚さ t < 150	—	-30			-10		
			t ≥ 150	—	-45			-15		
		幅 W	-100	—						
		表層	厚さ t	-10				幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割とし、厚さは、延長200m毎又は、500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1施工箇所につき2箇所を測定。		
			幅 W	-25						
ト グラ ウン ド ・ コ ー ト	緑 石 工	コンクリート緑石 舗装止め 見切材(仕切材)	基礎	公園基礎材参照		1箇所/1施工箇所毎に測定する。				
			幅 w	-10						
			厚さ h	-10						

公園緑化土木工事出来形管理基準

レベル				単位	測定項目	規格値(以内) 特記なき単位はmm	測定基準	適用		
1	2	3	4							
グラウンド・コート整備	スタンド擁壁工	スタンド擁壁	基準高	▽	±50	m	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
			厚さ	t	-20					
			幅	W	-30					
			高さ	h < 3m	-50					
			高さ	h ≥ 3m	-100					
			延長	L	-					
	ダックアウト工	ダックアウトスコアボードバックネット	基礎	設置高	▽	±30	基	1箇所/1基毎に測定する。		
				幅	w (D)	-30				
				高さ	h	-30				
				根入れ長		設計値以上				
グラウンド・コート施工	高尺ネットフェンスフェンス防球ネット	基礎	設置高	▽	設計値以上	m	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
			幅	w (D)	-30					
			高さ	h	-30					
			延長	L	-					
自然育成工	自然育成	蒔き出し	基準高	▽	-50	m ³	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。施工面積1,000㎡につき1箇所、面積1,000㎡以下のものは1施工箇所につき2箇所。基準高は各法肩で測定する。又は、施工面積のほぼ中心と各法肩で測定する。			
			法長	L < 5m	-100					
				L ≥ 5m	法長の - 2%					
			幅	w	-100					
	自然水路工	遮水・止水シート		基準高	▽	-50	m ²	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
				高さ	h	-30				
				幅	w	-100				
				延長	L	-				
		自然水路工	ごろた石積崩れ積		基準高	▽	±100	m	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。	
					法長	L/2 < 3m	-50			
L/2 ≥ 3m	-100									
幅	w				-50					
厚さ	t	-100								
延長	L	-								
自然水路工	砂・礫敷		幅	w	-100	m	幅は、施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 厚さは、施工延長200mにつき1箇所、200m以下は2箇所、中央で測定。又は施工面積1,000㎡に1回。			
			厚さ	t < 15cm	-25					
				t ≥ 15cm	-50					
しがらみ柵工	しがらみ柵		高さ	h	±30	m	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
			延長	L	-					
保護柵工	保護柵	基礎	設置高さ		設計値以上	m	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 施工延長40m(同50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
			幅	w (D)	-30					
			高さ	h	-30					
			延長	L	-					

第3章 公園緑化土木工事事品質管理基準

品質管理基準

区分	種別	試験(測定) 種目	試験方法	試験(測定) 基準	規格値	摘 要	
土工	材料	土の締め試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		土の粒度試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		土粒子の密度試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		土の含水比試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		土の液状限界・塑性限界試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		土の一軸圧縮試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		土の三軸圧縮試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		土の圧密試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		土のせん断試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		土の透水試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
	施工	現場密度の測定		土木工事施工管理基準 P.142 143参照 複数公園、路線場合は、各公園、路線毎に行う。1000㎡につき1回の割合で行う。			
		ブルーフローリング		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
	その他	平板載荷試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		現場CBR試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		含水比試験		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		コーン指数の測定		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
		たわみ量		土木工事施工管理基準 P.142 143参照			
	アスファルト舗装工	材料	骨材のふるい分け試験		土木工事施工管理基準 P.122 123参照		
			骨材の密度及び吸水率試験		土木工事施工管理基準 P.122 123参照		
骨材中の粘土塊量の試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
粗骨材の形状試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
フィラーの粒度試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
フィラーの水分試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
フィラーの塑性指数試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
フィラーのフロー試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
フィラーの浸水膨張率試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
フィラーの剥離抵抗性試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
製鋼スラグの水浸膨張性試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
製鋼スラグの密度及び吸水率試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
粗骨材のすりへり試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
粗骨材中の軟石量試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
針入度試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			
軟化点試験				土木工事施工管理基準 P.122 123参照			

品質管理基準

区分	種別	試験(測定) 種目	試験方法	試験(測定) 基準	規格値	摘 要
ア ス フ ア ル ト 舗 装 工	材 料	伸度試験		土木工事施工管理基準 P.122 123参照		
		トルエン可溶分試験		土木工事施工管理基準 P.122 123参照		
		引火点試験		土木工事施工管理基準 P.122 123参照		
		薄膜加熱試験		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
		蒸発後の針入度試験		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
		密度試験		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
		高温動粘度試験		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
		60℃粘度試験		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
		タフネス・テナシティ試験		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
	ブ ラ ン ト	粒度 (2.36mmふるい)		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
		粒度 (75μmふるい)		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
		アスファルト量抽出粒度分析試験		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
		温度判定 (アスファルト・骨材・混合物)		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
	施 工	現場密度の測定		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
		温度測定 (初期締め前)		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
		外観検査 (混合物)		土木工事施工管理基準 P.124 125参照		
すべり抵抗試験			土木工事施工管理基準 P.124 125参照			
レ デ ィ ー ミ ク ス ト コ ン ク リ ー ト	材 料	示方配合の決定		配合ごとに決定する		
		アルカリ骨材反応対策		土木工事施工管理基準 P.106 107参照		
		骨材のふるい分け試験		土木工事施工管理基準 P.106 107参照		
		骨材の密度及び吸水率試験		土木工事施工管理基準 P.106 107参照		
		粗骨材のすりへり試験		土木工事施工管理基準 P.106 107参照		
		骨材の微粒分量試験		土木工事施工管理基準 P.106 107参照		
		砂の有機不純物試験		土木工事施工管理基準 P.106 107参照		
		モルタルの圧縮強度による砂の試験		土木工事施工管理基準 P.106 107参照		
		骨材中の粘土塊量の試験		土木工事施工管理基準 P.106 107参照		
		硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験		土木工事施工管理基準 P.106 107参照		
		セメントの物理試験		土木工事施工管理基準 P.106 107参照		
		ポルトランドセメントの化学分析		土木工事施工管理基準 P.106 107参照		
		練混ぜ水の水質試験		土木工事施工管理基準 P.108 109参照		
		製 造	計量設備の計量精度		土木工事施工管理基準 P.108 109参照	
	ミキサの練混ぜと性能試験			土木工事施工管理基準 P.108 109参照		
	細骨材の表面水率試験			土木工事施工管理基準 P.108 109参照		
	粗骨材の表面水率試験			土木工事施工管理基準 P.108 109参照		
	塩化物総量規制			土木工事施工管理基準 P.110 111参照		
	単位水量測定			土木工事施工管理基準 P.110 111参照		

品質管理基準

区分	種別	試験(測定) 種目	試験方法	試験(測定) 基準	規格値	摘 要	
レ デ ィ ー ミ ク ス ト コ ン ク リ ー ト	製 造	スランプ試験		土木工事施工管理基準 P.110 111参照			
		コンクリートの圧縮強度試験		土木工事施工管理基準 P.110 111参照			
		空気量測定		土木工事施工管理基準 P.112 113参照			
		コンクリートの曲げ強度試験		土木工事施工管理基準 P.112 113参照			
		コアによる強度試験		土木工事施工管理基準 P.112 113参照			
		コンクリートの洗い分析試験		土木工事施工管理基準 P.112 113参照			
		ひび割れ調査		土木工事施工管理基準 P.112 113参照			
		テストハンマーによる強度推定調査		土木工事施工管理基準 P.112 113参照			
		コアによる強度試験		土木工事施工管理基準 P.112 113参照			
		配筋状態及びかぶり		土木工事施工管理基準 P.112 113参照			
		強度測定		土木工事施工管理基準 P.112 113参照			
鉄 鋼	材 料	鉄鋼の形状寸法及び重量試験	J I S G 0 3 0 3	当初及び製造工場又は規格の変化ごとに実施する。	JISG3191熱間圧延棒鋼とパーインコイルの形状、寸法及び重量並びにその許容差 JISG3192熱間圧延形鋼の形状、寸法、質量及びその許容差 JISG3193熱間圧延鋼板及び鋼帯の形状、寸法、質量及びその許容差 JISG3194熱間圧延平鋼の形状、寸法、及び重量並びにその許容差	材料の規格試験は、製造工場の規格合格証明書（ミルシート）でよい。 ただし、監督員が必要と認める場合、試験を指示することができる。	
		引張試験	J I S Z 2 2 4 1	当初及び製造工場又は規格の変化ごとに実施する。	JISG3101一般構造用圧延鋼材 JISG3106溶接構造用圧延鋼材 JISG3109 P C 鋼棒 JISG3112鉄筋コンクリート用棒鋼 JISA5525鋼管ぐい JISA5526H形鋼ぐい JISA5528熱間圧延鋼矢板	材料の規格試験は、製造工場の規格合格証明書（ミルシート）でよい。 ただし、監督員が必要と認める場合、試験を指示することができる。	
		曲げ試験	J I S Z 2 2 4 8				
	(施 工 接 前)	外観試験			土木工事施工管理基準 P.114 115参照		
	施 工 後 (圧 接)	外観検査			土木工事施工管理基準 P.114 115参照		
		超音波探傷検査	J I S Z 3 0 6 2	鉄筋径ごとに、3本のモデル供試体を施工初期に作成し実施する。 (モデル供試体は実際の作業と同一条件、同一材料で行う)	全数がJISG3112に規程する母材強度以上であること。	試験成績表及び写真を提出する。	
		超音波探傷試験	J I S Z 3 0 6 2	超音波探傷検査は抜取検査を原則とする。 抜取検査の場合は、各ロットの30箇所とし、1ロットの大きさは200箇所程度を標準とする。ただし、1作業班が1日に施工した箇所を1ロットとし、自動と手動は別ロットとする。	・各検査ロット毎に30箇所のランダムサンプリングを行い超音波探傷検査を行った結果、不合格箇所数が1箇所以下の時はロットを合格とし、2箇所以上のときはロットを不合格とする。 ただし、可否判定レベルは基準レベルより-24db感度を高めたレベルとする。	規格値を外れた場合は、下記による。 ・不合格ロットの全数について超音波探傷検査を実施し、その結果不合格となった箇所は、監督職員の承諾を得て、補強筋ラップ長の2倍以上)を添えるか、圧接部を切り取って再圧接する。 ・圧接部を切り取って再圧接によって修正する場合には、修正後外観検査及び超音波探傷検査を行う。	

品質管理基準

区分	種別	試験(測定) 種目	試験方法	試験(測定) 基準	規格値	摘 要	
土・石材	材料	たたき粘土					
		土の粒度試験	J I S A 1 2 0 4	当初及び土質の変化した時	設計図書による		
		土粒子の密度試験	J I S A 1 2 0 2				
		土の含水比試験	J I S A 1 2 0 3				
		土の透水試験	J I S A 1 2 1 8				
	土舗装材						
	土舗装材	土の粒度試験	J I S A 1 2 0 4	当初及び土質の変化した時	設計図書による		
		土粒子の密度試験	J I S A 1 2 0 2				
		土の含水比試験	J I S A 1 2 0 3				
	クレー舗装材						
	クレー舗装材	土の粒度試験	J I S A 1 2 0 4	当初及び土質の変化した時	設計図書による		
		土粒子の密度試験	J I S A 1 2 0 2				
		土の含水比試験	J I S A 1 2 0 3				
	施工	硬度	プロクターニ ドール	1000㎡毎	陸上競技場 50～110 野球場 30～80 テニスコート 40～110		
土・石材	材料	アンツーカー舗装材					
		物性値・成分値は製造者からの試験表による。			試験表の確認		
	材料	土の含水比試験	J I S A 1 2 0 3	・路体：当初及び土質の変化した時 ・路床：含水比の変化が認められた時	設計図書による		
		粗骨材の形状試験	舗装調査・試験法 便覧[2]-45	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	細長、あるいは扁平な石片：10%以下		・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は監理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層および基層用混合物の総使用量が500t以上、3,000t未満（コンクリートでは400m ³ 以上、1,000m ³ 未満）。ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1) 路盤：施工面積が1,000㎡を超えるもの 2) アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの
施工	硬度	プロクターニ ドール	1000㎡毎	陸上競技場 80～150 テニスコート 60～120			

品質管理基準

区分	種別	試験(測定)種目	試験方法	試験(測定)基準	規格値	摘要	
土・石材	材料	舗装用石材積み・張り用石材					
		岩石の見掛比重	J I S A 5 0 0 6	原則として産地毎に当初及び岩質の変化した時	設計図書による	<ul style="list-style-type: none"> ・500m3以下は監督職員承諾を得て省略できる。 ・参考値： ・硬石：約2.7～2.5g/cm3 ・準硬石：約2.5～2g/cm3 ・軟石：約2g/cm3未満 	
		岩石の吸水率	J I S A 5 0 0 6		設計図書による	<ul style="list-style-type: none"> ・500m3以下は監督職員承諾を得て省略できる。 ・参考値： ・硬石：5%未満 ・準硬石：5%以上15%未満 ・軟石：15%以上 	
		岩石の圧縮強さ	J I S A 5 0 0 6		設計図書による	<ul style="list-style-type: none"> ・500m3以下は監督職員承諾を得て省略できる。 ・参考値： ・硬石：4903N/cm2以上 ・準硬石：980.66N/cm2以上4903N/cm2未満 ・軟石：980.66N/cm2未満 	
		岩石の形状	J I S A 5 0 0 6		5,000m3につき1回の割で行う。但し、5,000m3以下のものは1工事2回実施する。	うすっぺらなもの、細長いものであってはならない。	500m3以下は監督職員承諾を得て省略できる。
造園	材料	高木					
		高さ(H)	計測用具による計測	樹種別、規格別に各設計数量の10%を計測する。ただし、株立ち樹木については、全数を計測する。※規格値については生産地によりばらつきがあり、これにより支障が生じる場合には監督職員との協議により決定する。	設計値≦H	設計図書に記載のない項目は省略してもよい。	
		幹周(C)			設計値≦C ただし、上位階級の寸法値未満であること		
		枝張(W)			設計値≦W		
		中低木					
		高さ(H)	計測用具による計測	樹種別、規格別に各設計数量の10%を計測する。※規格値については生産地によりばらつきがあり、これにより支障が生じる場合には監督職員との協議により決定する。	設計値≦H ただし、上位階級の寸法値未満であること	設計図書に記載のない項目は省略してもよい。	
		枝張(W)			設計値≦W		
		特殊樹木					
		高さ(H)	計測用具による計測	樹種別、規格別に各設計数量の10%を計測する。	設計値≦H□	設計図書に記載のない項目は省略してもよい。	
		幹周(C)			設計値≦C ただし、上位階級の寸法値未満であること		
		枝張又は尺(W)			設計値≦W		
		地被類					
		莖長(L)	計測用具による計測	設計数量の2%を計測する。※規格値については生産地によりばらつきがあり、これにより支障が生じる場合には監督職員との協議により決定する。	設計値≦L	設計図書に記載のない項目は省略してもよい。	
		芽立数(BN)	目視		設計数≦芽立数		
		コンテナ(ポット)径	計測用具による計測。又は、刻印の確認		設計寸法≦直径 ただし、著しい変形のないこと。		

品質管理基準

区分	種別	試験(測定) 種目	試験方法	試験 (測定) 基準	規格値	摘 要
木材	材料	木材の加圧式保存処理方法	J I S A 9 0 0 2	材料承諾時		
		木材の浸漬式防腐処理方法	防腐処理剤メーカーの基準による		防腐処理剤メーカーの基準による	
		含水比	J A S			
		保存処理剤浸度試験	J A S	材料承諾時		
平板ブロック	材料	曲げ試験 (歩道コンクリート平板等)		土木工事施工管理基準 P.154参照		
		曲げ試験 (テラゾブロック等)		土木工事施工管理基準 P.154参照		
		コンクリートの曲げ強度試験 (組み合わせブロック)		土木工事施工管理基準 P.154参照		
	施工	すべり抵抗値試験 ・歩道コンクリート平板等 研磨タイプ 研磨+ショットタイプ ・テラゾブロック等 ・組み合わせブロック 研磨タイプ		土木工事施工管理基準 P.154参照		

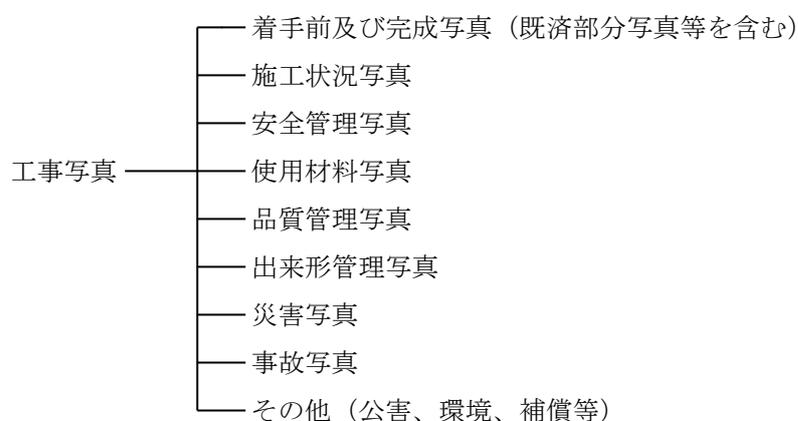
第4章 公園緑化土木工事写真管理基準

(適用範囲)

1. この写真管理基準は、第1章 施工管理基準 7. その他に定める土木工事（電子媒体によるものを含む）の撮影に適用する。
2. 電気工事については、第1章 施工管理基準 7. その他及び参考資料 公園灯工事施工の手引き 第3章「工事写真の撮り方」を適用する。

(工事写真の分類)

2. 工事写真は次のように分類する。



(工事写真の撮影基準)

3. 工事写真の撮影は以下の要領で行う。

(1) 撮影頻度

工事写真の撮影頻度は別紙撮影箇所一覧表に示すものとする。

(2) 撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種名
- ③ 測点(位置)
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

なお、小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

(写真の省略)

4. 工事写真は次の場合は省略するものとする。

- (1) 品質管理基準について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略できるものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を細別ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。

(写真の色彩)

5. 写真はカラーとする。

(写真の大きさ)

6. 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、次の場合は別の大きさとすることができる。

- (1) 着手前、完成写真等はキャビネ版またはパノラマ写真（つなぎ写真可）とすることができる。
- (2) 監督職員が指示するものは、その指示した大きさとする。

(工事写真帳の大きさ)

7. 工事写真帳は、4切版のフリーアルバムを標準とする。

(工事写真の提出部数及び形式)

8. 工事写真の提出部数及び形式は次によるものとする。

- (1) 工事写真として、工事写真帳と原本を工事完成時に各1部提出する。
- (2) 原本としては、ネガまたは電子媒体とする。

(工事写真の整理方法)

9. 工事写真の整理方法は次によるものとする。

- (1) 工事写真の原本をネガ提出する場合は、密着写真とともにネガアルバムに、撮影内容がわかるように整理し提出する。電子媒体で提出する場合は撮影内容がわかるように写真一覧（コマ撮りしたもの）を添付するものとする。
- (2) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の提出頻度に示すものを基準とする。

なお、提出頻度とは受注者が撮影頻度に基づき撮影した工事写真のうち、工事写真帳として貼付整理し提出する枚数を示したものである。

- (3) アルバムの表紙及び背面には、年度・工事名称・工事期間・受注者名・整理番号を記入し、第1頁には工事の概要（施工区間、施工延長、標準横断構造図、一般図）監督職員氏名、受注者（受注者名、現場代理人名）等を記入する。

第2頁以降には着手前と工事完成後とを比較対照できるように写真を貼付し、以後各工程ごとの施工中や施工後の写真を貼付する。なお、必要な説明書きをつけるものとする。

- (4) 工事箇所（公園・路線毎）施工順序に従って整理するものとする。

（電子媒体に記録する工事写真）

10. 電子媒体に記録する工事写真の属性情報等については、次の事項によるものとする。

- (1) 電子媒体は、CD-Rを原則とし、これ以外の電子媒体の場合については、監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 電子媒体に記録する工事写真のファイル形式はJPEG形式（圧縮を行う場合は、必要な文字、数値等の内容が判読できる程度まで）を原則とし、これ以外の場合には、監督職員の承諾を得るものとする。）また、ウイルスチェックを行い提出するものとする。
- (3) 撮影時の有効画素数は、黒板の文字が確認できることを指標とする。
- (4) 工事写真の印刷に使用するインク・用紙等は通常の使用条件のもとで3年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。
- (5) 写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

（留意事項等）

11. 別紙撮影箇所一覧表の適用について、次の事項を留意するものとする。

- (1) 撮影項目、撮影頻度等が工事内容により不適切な場合は監督職員の指示により追加・削除するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 出来形管理において詳細部の寸法を示す場合は、視野の大きい写真と同一方向からの出来形寸法を明確にする大写し写真を2枚1組として貼付する。なお、構造厚さや高さを示す場合は、箱尺等を立てて目盛面がよく見えるように水糸を張って撮影しなければならない。
- (4) 撮影箇所がわかるように、写真と同時に平面図等をアルバムに添付する。
- (5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員の承諾を得て取扱いを定めるものとする。

（その他）

12. 用語の定義

- (1) 代表箇所とは、あくまで寸法・規格・形状等が同一ということであり、大幅な変化がある場合や複数路線にまたがる場合はその都度必要である。
- (2) 適宜提出とは、監督職員が指示した箇所を提出することをいう。
- (3) 提出頻度の不要とは、原本は提出するが、工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。
- (4) 1施工単位とは、あくまで公園・路線単位であり、多公園・多路線であれば公園・路線毎に必要ということである。

公園緑化土木工事写真撮影基準

区分	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度（提出頻度）
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前	着手前1回
	完成	全景又は代表部分写真	完成後	施工完了後1回 (着手時と同一地点、同一方向から)
施工状況写真	工事施工中	施工中の写真 (主要構造物の施工中、重機械等の稼働中)	施工中	工種、種別毎に共通仕様書及び諸基準に従い施工していることが確認できるように適宜 【施工中・稼働中】
			施工中	高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるよう適宜 【施工中】 提出資料に添付する
	仮設 (指定仮設)	使用材料仮設状況 形状寸法	施工前後	1施工箇所へ1回 代表箇所 1枚
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて	発生時 工事打合簿に添付する
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	設置後	各種類毎に1回 全景
		各種保安施設の設置状況	設置後	各種類毎に1回 全景
		交通誘導員の交通整理状況	作業中	作業中に各1回 全景
		安全訓練等の実施状況	実施毎に	実施毎に1枚 報告資料に添付する
使用材料	使用材料	形状寸法	使用前 (搬入時)	各品目毎に1回 品質証明に添付する
		検収実施状況	検査時	各品目毎に1回 品質証明に添付する
使用材料	植栽工(樹木)	形状寸法	搬入時	各樹種毎に高木20本、 中木100本、低木500株に1回 (特殊樹木は高木に準ずる)
	植栽工(地被)	数量	搬入時	各樹種毎に1回以上 各種類全量毎に1回以上
品質管理写真	別添 品質管理写真撮影箇所一覧表に記載			
出来形管理写真	別添 出来形管理写真撮影箇所一覧表に記載			
災害写真	被災報告	被災状況及び被災規模等	その都度	その都度 (被災前) (被災直後) (被災後)
事故	事故報告	事故の状況	その都度	その都度 (被災前) (被災直後) (被災後) 着手前は付近の写真でも可
その他	補償関係	被害又は損害状況	その都度	その都度 (被災前) (被災直後) (被災後)
	環境対策 イメージアップ等	核施設設置状況	各種毎1回	適宜

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			備考
		撮影項目	撮影頻度	提出頻度	
1	セメントコンクリート			土木工事施工管理基準 P. 162参照	
2	ガス圧接			土木工事施工管理基準 P. 162参照	
3	既製杭工			土木工事施工管理基準 P. 162参照	
4	下層路盤			土木工事施工管理基準 P. 163参照	
5	上層路盤			土木工事施工管理基準 P. 163参照	
6	アスファルト舗装			土木工事施工管理基準 P. 163参照	
7	アスファルト安定処理路盤			土木工事施工管理基準 P. 163参照	
8	セメント安定処理路盤 (施工)			土木工事施工管理基準 P. 163参照	
9	転圧コンクリート (施工)			土木工事施工管理基準 P. 163参照	
10	グースAs 舗装 (プラント)			土木工事施工管理基準 P. 164参照	
11	固結工			土木工事施工管理基準 P. 164参照	
12	アンカー工			土木工事施工管理基準 P. 164参照	
13	河川土工 (施工)			土木工事施工管理基準 P. 164参照	
14	道路土工 (施工)			土木工事施工管理基準 P. 164参照	
15	捨石工			土木工事施工管理基準 P. 165参照	
16	ポーラスアスファルト 舗装工			土木工事施工管理基準 P. 165参照	
17	プラント再生舗装工			土木工事施工管理基準 P. 165参照	
18	ガス切断			土木工事施工管理基準 P. 165参照	
19	溶接工			土木工事施工管理基準 P. 166参照	
20	工場製作工			土木工事施工管理基準 P. 166参照	
21	ブロック舗装工			土木工事施工管理基準 P. 166参照	
22	電線共同溝			土木工事施工管理基準 P. 166参照	
23	落橋防止装置工			土木工事施工管理基準 P. 166参照	

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			備考
		撮影項目	撮影頻度	提出頻度	
24	たたき粘土	土の粒度試験 土粒子の密度試験 土の含水試験 土の透水試験	試験実施中 土質毎に1回	不要	
25	土舗装材	土の粒度試験 土粒子の密度試験 土の含水試験	試験実施中 土質毎に1回	不要	
26	クレー舗装材	土の粒度試験 土粒子の密度試験 土の含水試験	試験実施中 土質毎に1回	不要	
		硬度（施工）	試験実施中 1,000 m ² 毎に1回	不要	
27	アンツーカー舗装材	含水比 粒度	試験実施中	観察により異常が認められた場合	
		硬度（施工）	試験実施中 1,000 m ² 毎に1回	不要	
28	舗装用石材 積み・張り用石材	岩石の見掛比重 岩石の圧縮強さ 岩石の形状	試験実施中 産地又は岩質毎に1回	不要	
29	火山砂利	最大乾燥密度の測定 修正CBRの測定 骨材のふるい分け試験 質材の洗い試験 粗骨材のすりへり試験 骨材の安定性試験 凍上試験 強熱減量試験	試験実施中		
		土の透水試験	試験実施中 採取地毎に1回	不要	
		締固め度の測定 （施工）	試験実施中 A類300m ² 毎に1回 B・C類1,500m ² 毎に1	不要	
		骨材のふるい分け試験 （施工）	試験実施中 搬入時に1回 観察により異常が認められた場合	不要	
		骨材の洗い試験（施工）			
30	客土	PH(H2 O) [簡易pH計]	試験実施中 採取地毎に1回	不要	
		有害物質 [電気伝導度（ECメーター）]			
31	高木	高さ 幹周 枝張	試験実施中 樹種別、規格別に1回		
32	中低木	高さ 枝張	試験実施中 樹種別、規格別に1回		
33	特殊樹木	高さ 幹周 枝張又は尺	試験実施中 樹種別、規格別に1回		
34	地被類	茎長 芽立	試験実施中 樹種別、規格別に1回		
35	木材	木材の加圧式防腐処理方法 木材の浸漬式防腐処理方法 含水率 保存処理剤浸度試験	試験実施中 材料毎に1回	不要	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度	提出頻度	
1	表土掘削			土木工事施工管理基準 P. 180参照	
2	掘削工			土木工事施工管理基準 P. 180参照	
3	盛土工			土木工事施工管理基準 P. 180参照	
4	路体盛土工			土木工事施工管理基準 P. 181参照	
5	法面整形工			土木工事施工管理基準 P. 181参照	
6	安定処理工	仕上げ状況 厚さ	仕上げ時	40mに1回又は 施工面積1,000 m ² 毎に1回	代表箇所 各1回
7	開渠排水	高さ 幅	埋戻し前	40m又は施工箇所に1回	
8	暗渠排水	高さ・幅 厚さ・長さ	埋戻し前	40m又は施工箇所に1回	
9	普通耕 土壌改良	幅・深さ 施工状況	施工前 施工中 施工後	耕耘タイプ毎に1回 施肥配合タイプ毎に1回	
10	表土盛土工	蒔出厚 締め固め状況 幅・法長	蒔出中 締め固め時 施工後	200mに1回 転圧機械又は地質が 変わる毎に1回 200mに1回	
11	植生工 張芝工 筋芝工 植生シート			土木工事施工管理基準 P. 182参照	
12	編柵工	高さ	施工後	施工箇所毎に1回	
13	じゃかご ふとんかご	高さ	施工後	200m又は1施工箇所に1回	
14	現場打擁壁工 小型擁壁 重力式擁壁 L型擁壁			土木工事施工管理基準 P. 203参照	
15	基礎材 均しコンクリート			土木工事施工管理基準 P. 185参照	
16	プレキャスト 擁壁工			土木工事施工管理基準 P. 204参照	
17	コンクリートブロック工 ブロック積 ブロック張			土木工事施工管理基準 P. 188参照	
18	崩れ積工	胴込裏込厚 法長又は高さ	施工中 施工後	120m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1回
19	石積工 玉石積 雑石積 雑割石積			土木工事施工管理基準 P. 188参照	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度	提出頻度	
20	土留め工	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	100m又は1施工箇所 に1回	代表箇所 各1回
		高さ	施工後		
21	プレキャスト カルバート工			土木工事施工管理基準 P. 206参照	
22	遊具移設工	設置高さ	施工後	1回 /1基	
		基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ 毎5箇所に1回	
23	工作物移設工	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ 毎5箇所に1回	
24	植栽工 高木植栽 中低木植栽 (支柱有) 特殊樹木植栽	植穴径 深さ	施工中 施工後	樹種別・規格別 毎に1回	材料検収に 準ずる。
		樹木施工状況	施工後	樹種別・規格別 毎に1回	
		支柱施工状況	施工後	樹種別・規格別 毎に1回	
		客土施工状況 土壌改良材 肥料 材料の使用量 (空袋)	施工中 施工後	樹種別・規格別 毎に1回	
25	地被類植栽	施工状況	施工前 施工中 施工後	樹種別・規格別 毎に1回	
26	花壇植栽	施工状況	施工前 施工中 施工後	花壇植栽別 1回	
27	寒冷紗巻き	施工状況	施工前 施工中 施工後	樹種別・規格別 毎に1回	
28	樹名板設置	施工状況	施工前 施工後	樹種別 毎に1回	
29	根囲い保護工	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ 毎5箇所に1回	
30	高中木根回し	根回し状況	施工中 施工後	樹種別・規格別 毎に1回	
31	高中低木移植			植栽工に 準ずる。	
32	地被類移植			地被類植栽に 準ずる。	
33	水栓類取付工 止水栓 止水栓ボックス メーターボックス	据付 設置状況	施工中 施工後	5箇所に1回	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度	提出頻度	
34	散水施設工 散水栓 散水栓ボックス	据付 設置状況	施工中 施工後	5箇所に1回	
35	ドリップパイプ	径 据付状況	施工中 施工後	100m又は1施工箇所に1回	
36	給水管 埋設シート	深さ 据付状況	埋戻し前	120m又は1施工箇所に1回	
37	側溝工 L型側溝 プレキャストU型側溝 自由勾配側溝 プレキャスト皿型側溝 コルゲートフリューム 側溝蓋工 特殊円形側溝			土木工事施工管理基準 P. 204参照	
38	現場打L型側溝	厚さ 幅 高さ	型枠 取外し後	200m又は1施工箇所に1回	
39	現場打側溝			土木工事施工管理基準 P. 204参照	
40	集水柵工 マンホール工 塩化ビニル製柵			土木工事施工管理基準 P. 204参照	
41	透水コンクリート管 化学繊維管			土木工事施工管理基準 P. 204参照	
42	現場打水路工			土木工事施工管理基準 P. 204参照	
43	照明設備工 ハンドホール工			土木工事施工管理基準 P. 223参照	
44	照明設備工 引込柱 分電盤	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工中 施工後	基礎タイプ毎5箇所に1回	
45	照明柱基礎			土木工事施工管理基準 P. 223参照	
46	ケーブル配管工 電線管 電線 埋設シート			土木工事施工管理基準 P. 223参照	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度	提出頻度	
47	アスファルト舗装 コンクリート舗装 土系舗装 レンガ・タイル系舗装 樹脂系舗装 石材系舗装 ブロック舗装			土木工事施工管理基準 P. 189～200参照	
48	縁石工			土木工事施工管理基準 P. 183参照	
49	区画線			土木工事施工管理基準 P. 184参照	
50	階段工 コンクリート階段 ブロック階段 微木階段 石材階段	幅 高さ 長さ 段数	施工前 施工中 施工後	1施工箇所につき1回	
51	公園橋設置 八ツ橋 石橋 木橋	幅 厚さ 高さ	型枠 取外し後	1施工箇所につき1回	代表箇所 各1回
52	公園橋橋台			土木工事施工管理基準 P. 224参照	
53	デッキ基礎 デッキ設置	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工中 施工後	基礎タイプ毎5箇所につき1回	代表箇所 各1回
54	袖垣 垣根	高さ	施工中 施工後	120m又は1施工箇所につき1回	
55	トレリス 緑化フェンス	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工中 施工後	基礎タイプ毎5箇所につき1回	代表箇所 各1回
		高さ	施工後	100m又は1施工箇所につき1回	
56	ブランコ 滑り台 鉄棒 ラダー スプリング遊具 総合遊具 健康遊具施設	設置高さ	施工後	1回 /1基	
		基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工中 施工後	基礎タイプ毎5箇所につき1回	
57	砂場工	厚さ 幅 高さ 施工状況	施工前 施工中 施工後	1施工箇所につき1回	
58	時計台	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工中 施工後	基礎タイプ毎5箇所につき1回	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度	提出頻度	
59	水飲み場	設置高さ	施工後	1回 /1基	
		基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回	
60	ベンチ スツール テーブル	設置高さ	施工後	1回 /1基	
		基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回	
61	案内板 掲示板 解説板	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工中 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回	
62	くず入れ 吸殻入れ	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工中 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回	
63	門壁 門柱 門扉	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工中 施工後	1施工箇所に1回	
64	フェンス 柵 手すり 転落防止柵	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	土木工事施工管理基準 P. 183参照	
		高さ	施工後		
65	車止め 車椅子ゲート	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回	
66	四阿基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回	
67	パーゴラ			四阿に準ずる。	
68	グラウンド・コート用舗装 下層路盤 上層路盤 中層	敷均し厚 転圧状況	施工中	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
		整正状況	整正後		
		厚さ	整正後		
		幅	整正後		
	基層	整正状況	施工後		
		タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回	
		幅	整正後	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
	抜取りコア厚さ	抜取り後	全数量		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度	提出頻度	
69	クレー舗装 アンツーカー舗装 天然芝舗装	路盤工 敷均し厚 転圧状況	施工中	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
		路盤工 整正状況	整正後	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
		路盤工 厚さ	整正後	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
		路盤工 幅	整正後	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
		表層工 整正（施工）状況	整正後	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
70	人工芝舗装 全天候型舗装 （樹脂系） 全天候型舗装 （アスファルト系）	路盤工 敷均し厚 転圧状況	施工中	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
		路盤工 整正状況	整正後	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
		路盤工 厚さ	整正後	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
		路盤工 幅	整正後	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
		表層工 整正（施工）状況	整正後	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
		タックコート プライムコート	整正後	各層毎に80mに1回又は 施工面積500㎡毎に1回	
		抜取りコア厚さ	抜取り後	全数量	
71	グラウンド・コート縁石工 コンクリート縁石 舗装止め 仕切り材			土木工事施工管理基準 P. 183参照	
72	スタンド擁壁工 スタンド擁壁	幅 高さ 厚さ 法長	型枠 取外し後	200m又は1施工箇所に1回	
73	ダックアウト工 ダックアウト基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所に1回	
74	バックネット工 バックネット基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所に1回	
		高さ 延長	施工後	100m又は1施工箇所に1回	
75	グラウンド・コート柵工 防球ネット フェンス	基礎高 基礎幅 根入れ長	型枠 取外し後	120m又は1施工箇所に1回	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度	提出頻度	
76	自然育成盛土工 蒔き出し	蒔き出し厚	蒔き出し時	200mに1回又は 施工面積1,000㎡毎に1回	
		蒔き出し状況	蒔き出し時	転圧機械又は地質が 変わる毎に1回	
		幅 法長	施工後	200mに1回又は1施工箇所 又は施工面積1,000㎡毎に1回	
77	自然水路工 防水シート	幅 高さ	施工状況 施工後	40m又は施工箇所1回	
78	自然水路工 ごろた石積 崩れ積	胴込裏込厚 法長又は高さ	施工後	120m又は1施工箇所に1回	
79	自然水路工 砂・礫敷	厚さ 幅		200mに1回又は 施工面積1,000㎡毎に1回	
		法長又は高さ	施工後	100m又は1施工箇所に1回	
80	しがらみ柵	高さ 幅	施工後	120m又は1施工箇所に1回	
81	樹木維持管理	剪定	施工前 施工中 施工後	夏・冬、各路線、各公園、各 規格毎に1回以上	
		整枝 形状寸法	施工前 施工中 施工後	各路線、各公園、各規格毎に1 回以上	
		刈込 形状寸法 各路線	施工前 施工中 施工後	各路線、各公園、各規格毎に1 回以上	
		草刈り 芝刈り 清掃 除草 落葉清掃	施工前 施工中 施工後	各路線、各公園、各規格毎に1 回以上	
		灌水 灌水状況	施工中	各路線、各公園、各規格毎に1 回以上	
		薬剤散布 散布状況	施工中	各路線、各公園、各規格毎に1 回以上	
		施肥 施肥状況	施工中	各路線、各公園、各規格毎に1 回以上	
		運搬処分	施工中	各規格毎に1回以上	
		伐採木 枯損木 形状寸法	施工前 施工中 施工後	各路線、各公園、全本数に1回 以上	
		巡視点検 各路線樹勢調査	施工中	各路線、各公園、各規格毎に1 回以上	
	支柱整備 各路線支柱撤去 障害樹処理 土砂すきとり	施工前 施工中 施工後	各路線、各公園、各規格毎に1 回以上		